

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で54,000cells/ml、シャットネラ属が最高で3,400cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモイとシャットネラ属は、全ての観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

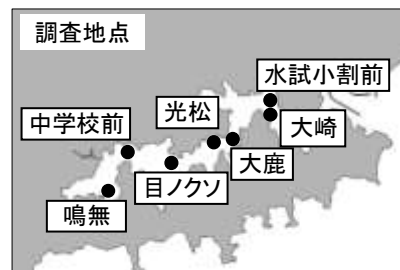
湾内は全体的に濃く呈色しており、今回の観測点以外にもカレニア・ミキモイの極めて濃密な水塊が多く存在しています。

餌止めを行うなど、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	11,250	800	250
	2m	1,100	220	450
	5m	90	320	300
目ノクソ	0m	21,500	1,750	375
	2m	1,750	380	100
	5m	130	210	50
光松	0m	10,500	950	125
	2m	1,360	100	125
	5m	170	30	100
大鹿	0m	54,000	3,400	150
	2m	5,600	350	100
	5m	380	20	50
水試小割前	0m	2,600	200	400
	2m	2,800	80	0
	5m	480	60	100
鳴無	0m	4,800	30	
	2m	660	340	
	5m	210	320	
中学校前(北)	0m	4,800	1,150	
大崎	0m	48,000	3,400	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml (魚類のへい死)